

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年6月1日				
ドーナラボでだこ						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	4		・ゆったりとしたスペースを取っている ・自由なスペースを確保できるように物などの配置を移動する		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・ゆとりのある人数で対応している	・職員が働きやすい環境作りをしていきたい	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	・視認性で動けるように動線や物の置き場所が分かるように名前の表示など工夫している。	・少し凹凸がある部分があるので、すべてがバリアフリー化出来るように改善したい。 ・床がコンクリートで硬いので、少し危ないところもあるが、マットなどを使って改善していきたい ・段差があったり、床が硬いため、改善が必要	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・毎日の清掃、消毒などを行なっている。 ・動きやすいように、机などのスペースと動くように広いスペースを確保している	・今後は感染症対策なども研修を入れたりしてさらに安全な空間を作りたい	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・活動室、相談室などや児童が好みに移動できる場所になっている。 ・パーティションなどで環境を作っている ・集中したい児童が相談室などを利用できる環境になっていると思う ・個別で部屋を使用したり、秘密基地を設置できるよう道具をいつでも置いておくなど、必要に応じて使用や設置を認めている	・今後はプライバシーや安全に配慮しながらも、防音(消音)等で過敏な児童に配慮もしていきたい	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・常に、優先度が高い事柄から、職員で話PDCAを意識しながら、共有や児童支援の統一している		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		・保護者の評価表を元に会議等をしていきたい	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・月1回の会議、送迎後の気になった点の共有や支援方法の統一などを行っている	・さらに情報共有や支援を見える化できるようにしていきたい	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第三者委員会を検討している。 教育機関の生徒をボランティアで受け入れる際に学校からの事業所の評価を聞いている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			・さらに職員の支援の質が向上するように内部外部問わずに、積極的に研修を開催していきたい。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・職員でアイデアを出し合ったり、児童のアイデアを採用するなどの工夫をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		・今は希望者のみですが、児童館を利用する機会も増えてきており、他者と同じ空間ややりとりも増えており、良い機会と考えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	・自立支援協議会が開いている研修などはいつも管理者含めて参加させてもらっている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			・支援の内容や直近の情報については常に共有しているが、もっと見える化できるように工夫していきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		・夏休みなど保護者も一緒に参加できるイベントなどの開催をしたい ・できる環境を作る ・1年に1度は開催したい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・会議を開き体制の整備などを検討し、保護者に対応している ・上司に報告をし、対応が遅れないようにしている ・職員間ですぐに共有し、迅速に対応できている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		・見やすいように、活動の写真やコメントなどを工夫して掲載している ・毎月便りを出している ・定期的なお便りの発行やSNS等を活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人が特定されないようにモザイク処理などを工夫している	・注意しているが、より一層努力する ・取り扱いには注意しているが、より一層の努力をしていく
非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・分かりやすいように、ゆっくりと話たり、個々に合わせて支援している ・相手の話を聞くようにしている ・文字や言葉、写真等、わかりやすい工夫をしながら伝えている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		4		・児童館への参加ぐらいなので、こちらからのアプローチやイベントを企画していきたい ・やっていけるようにしたい ・地域へ溶け込んでいけるよう、地域住民と関わりを持てる行事などを企画したい
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・マニュアルなどは見えやすい場所に掲示したりしている ・避難訓練での確認 ・訓練を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・非常食の試食などを食べたりして工夫している ・訓練を行っているが、これからも行いたい	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	・お薬を飲んでいるのか来所時に確認している ・服薬等の確認を行っている	・把握できていない児童もいるので、今後把握していきたい
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・対象児童はおやつなどで気かけながら見ている ・アレルギーについて事前に聞き取りを行い、対応できている	・保護者からの申請。これからは医師の指示書があれば確認したい
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・安全に配慮し支援をおこなえているが、これからも充分に気を付けたい	・検討確認したい ・できるようにしたい
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	・周知している	・できているかわからない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハットを作成し、職員間で共有している	・分かりやすい、書き込みやすいように改善中 ・少しのことでも記入していきたい

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	・年1回の研修に参加している ・職員同士で、何かあると報告などを行っている ・研修に参加したりと、適切な対応を行えている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	・全体MTGでの共有があり、理解しています ・身体拘束について研修などを通し、話し合いを持っている	・対象児童がいないため記載しているか確認したことがない